

# 新型コロナウイルス対策で7回目の申し入れ 日本共産党議員団が村山市長に

日本共産党上越市議団は7日、新型コロナウイルス感染症対策に関して村山秀幸市長あての申し入れ書を提出しました。

提出にあたって、私からは、「申し入れ書の本身は、9月議会で私たちが訴えたことや前回の申し入れ後、市民から寄せられたものが入っている。ぜひ検討してほしい」と訴えました。

申し入れ書を受け取った笹川正智総務管理部長は、「市長や関係する部長にしっかりと伝えます」とのべていました。

今回の申し入れには、上越地区暮らし・子育て相談室の岩澤健（いわさわ・たけし）室長も同席しました。申し入れ事項は以下の6項目です。

- 1、ワクチンの追加接種（ブースター）と一体に、「大規模・頻回・無料」のPCR検査を行って、感染者の早期確認、保護を進め、それによって経済の活性化を図ることができるようになることを、国に強く求めよう。
- 2、PCR検査については、感染伝播の鎖を断つための大規模検査を「いつでも、誰でも、何度でも、無料で」の立場で、市独自に大胆かつ大規模に行うこと。
- 3、国に対して、持続化給付金と家賃支援金の再支給を強く求めること。
- 4、飲食店を中心に、銀行等との取引がないなどの要因で十分に困窮状況が把握できていない小規模事業者の状況を的確に把握し、支援に取組むこと。
- 5、市として、低所得者向けの定額給付金を支給すること。
- 6、住宅リフォーム促進事業については、抽選漏れの人も含めて申込者全員を助成対象にできるように、補正予算を組むこと。

## 公の施設における昇降機設置状況が明らかに

9月議会の総務常任委員会審査の中で私は、市民プラザの上りのエスカレーターが長期にわたり使用不能となっている事態を重視し、質問を展開しました。



【サラシナショウマ】  
（再掲）キンポウゲ科の多年草。漢字で「晒菜升麻」と書きます。若芽は水にさらして食べることができるそうです。花期は8月～10月。多数の小さな白い花をつけた花穂は白いブラシのようです。花言葉は「雰囲気のいい人」「愛嬌」「無邪気」など。写真は10月3日、吉川区上川谷にて撮影しました。

この中で私は、同エスカレーターの早期修繕を求めるとともに、上越市内の公の施設における昇降機設置状況を調査し、今後の修繕、更新計画を策定するよう求めていましたが、このほど、その第一段階として調査結果が出てきました。

今回、調査対象となったのは、438施設です。調査対象となったのはエレベーター、エスカレーター、階段昇降機、ダムウエーター（小荷物昇降機）の4つです。これらの設備があるのは、179施設で、設置台数は202にもなりました。下表をのぞいてください。

次は定期点検などに基づく修繕、更新計画です。柳沢祐人財務部長は、私の質問に答えて、「（市が所有する建物のエスカレーター、エレベーターについては）用地管財課が一步前に出て全体を把握し、情報として整理することは必要。人間を上下に移動させる設備は先を見据えて、症状が軽いうちに、安価でできるうちに予防修繕も検討していかねばならない」とのべましたので、今後、予防修繕などの動きが出てくるかどうか注視していきます。

昇降機種別	設置施設数	設置台数	主な施設
エレベーター	100	110	行政庁舎、学校、福祉施設等
エスカレーター	4	13	市民プラザ、駅うみがたり
階段昇降機	13	13	学校、公民館
小荷物昇降機	62	66	学校、保育園等
合計	179	202	



昨冬の大雪で壊れたモニタリングポスト（放射線量測定機器）の電光表示器。9月議会では9月末までには修繕が終わるとの答弁でしたが、大島区田麦のモニタリングポストの修繕は遅れて、10月末までかかるとのことです。

はしづめ法一の  
活動レポート

No.2032 2021.10.17

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628  
通じないときは 090-5392-1961  
E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp  
URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索

# 春よ来い

## 第六七九回

### 後ろ姿

八月の下旬、ある病院のナースステーションの受付で親戚のT子さんの入院に必要な物をスタッフの方に渡しているときでした。背後から「橋爪さん！」と声をかけてくださった方がありました。

誰かと思って振り向くと、同じ吉川区内に住むKさんの姿がありました。最近、散歩中の姿が見えないので、「どうしなったかな」と思っていました。入院されていたんですね。Kさんは車イス姿でしたが、顔は元気そのものでホッとしました。

私から「よく、俺だっってわかったねえ」と言ったところ、「おまんの後ろ姿はすぐわかるわね」と言われてしまいました。まいましたね。たぶん、若いころ痛めた腰をかばう癖がついているので、背中が少し丸まっているのでしよう。

後ろ姿を見ただけで誰だかすぐわかる人は、私にもいます。その一人は友人のTさんです。背は高く、がっちりした体つきです。背が高い割に腰からは安定感があります。若かりし頃に運送の仕事をされていたこともあって、重心が低いのかも知れません。

Tさんのいいところはいつも明るいことです。私の場合は、面白くないことがあると、どうしても顔や背中にその雰囲気が出てしまうのですが、Tさんはどんなに面白くないことがあっても、そのことは体からはまったく見えてこないのです。それどころか、後ろ姿を見ていると、本人の明るい笑顔としゃべりが浮かんでくるのです。不思議な人ですね。

私と同年代のSさんもそう、遠く離れたところから見てもすぐわかります。六〇代の前半くらいまでは、「この人はお母さんに似ている」と思っていたのですが、六〇代も後半になり、さらに歳を重ねてきたら後ろ姿はいまは亡きお父さんにそっくりになってきました。

体はお父さんよりも少し大きいのですが、歩くときの格好はお父さんと同じで、左肩が右肩よりも少し高くなっています。片方の肩が高いといばっているように見える人が多いのですが、この人は気持ちややさしく、誰とでも平らな付き合いをする人なので、私は尊敬しています。

私にとって最も忘れられない後ろ姿は父の後ろ姿です。祖父・音治郎ゆずりののがちりした体ですが、仕事で鍛えられたのでしよう、逆三角形の体つきからくる男っぽさがストリートに伝わってきたものです。

父は八子や草に弱いにもかかわらず、夏場はほとんど裸で仕事をしていました。仕事着を身につけないものだから、胸も背中も傷だらけでした。この逆三角形も歩くときはガニマタになりました。この歩き方は私に、そして私の子どもにも引き継がれています。

父の後ろ姿は歩いている時だけでなく、背中で荷物を運んでいる時や耕運機に乗っている時でも一目でわかりました。じつにエネルギーッシュで、私が言うのもなんですが、惚れ惚れする姿だったのです。

その元氣だった父が、いつもと違うところを見せたのは祖父が死ぬ少し前でした。いまから五十数年前、祖父が脳溢血で倒れて五、六日後のことです。父は私に向かって、「もう、じちゃ、だめだな」とぼつりと言いました。そのときの父の後ろ姿はいまでも忘れられません。肩に力が無く、さびしさがにじみ出ていました。こんな父の姿を見たのはこのときが初めてでした。

さて、私ですが、病院で会ったKさんの言葉が気になり、その後、大きな鏡をバックにスマートフォンで自分の姿を斜め前から自撮りしてみました。画像の中の鏡には、ちよっとくたびれた関取のような姿が写っていました。これじゃわかるはずですよ。もう少し背をまっすぐしなせ。

## 田んぼ道を走る子どもたち



先日、クリーンセンターへ行った際、近くの田んぼ道を走っている子どもたちの姿を見かけました。いいもんですね。子どもたちは北諏訪小学校の児童です。校内マラソン大会なのでしょうが、子どもたちは頑張っていました。

## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	10月6日(水)	10月13日(水)
上越南消防署	0.053	0.050
上越北消防署	0.040	0.043
新井消防署	0.057	0.057
頸北消防署	0.057	0.057
頸南消防署	0.053	0.057
東頸消防署	0.050	0.047
名立分遣所	0.057	0.053
高士分遣所	0.057	0.057

### 50回目を迎えた市展賑わう

10月2日、オーレンプラザへ行き、市展を観てきました。お昼休みの時間帯にもかかわらず賑わっていました。高校時代の同級生が50周年記念賞を獲得したことや親しくしているお寺の坊守さんが優秀賞を受賞したこともあって、楽しみにしていました。たくさんの作品が並ぶ中で、知っている人の作品が展示されているとこちらもうれしくなります。高校時代の同級生の2作品、吉川、柿崎、牧区の知り合いの作品にひかれました。右の絵は牧区の瘦辺靖子さんの作品です。

